

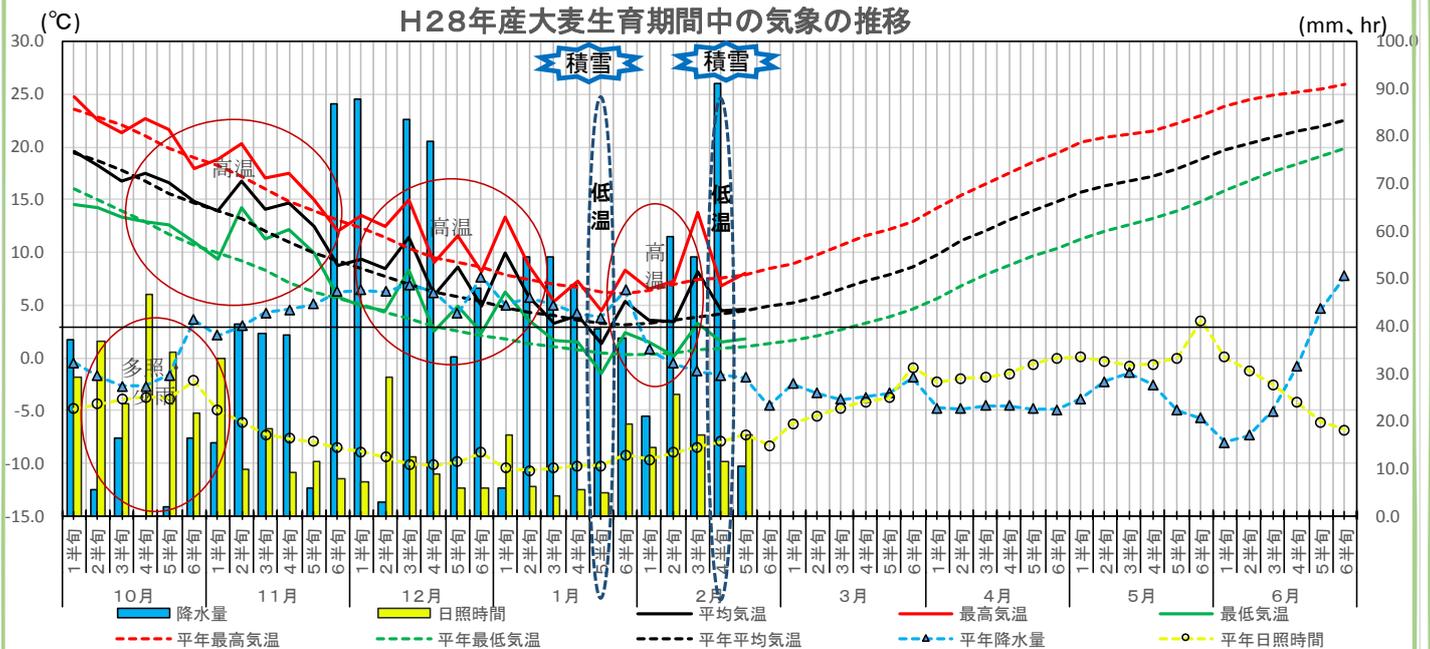
H28年産大麦情報第3号

平成 28 年 3 月 3 日
J A 松 任
白山石川営農推進協議会

排水対策および適切な越冬後追肥の実施により、
茎数の確保に努めましょう。

1. 大麦生育期間の気象経過 (10/1 半旬～2/5 半旬)

金沢アメダスデータ



※北陸地方 3か月(3～5月まで)の予報 (2/24 新潟地方気象台)

3月 天気は数日の周期で変わるとでしょう。**気温は、高い確率50%**です。

4月 天気は数日の周期で変わりますが、**平年に比べ晴れの日が少ない**でしょう。

気温は、高い確率50%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。

5月 天気は数日の周期で変わるとでしょう。平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

2. 生育状況 (11/11 及び 12/8、管内4か所調査)

1月上旬までは気温の高い日が続いたが、中旬以降、気温は低下し下旬には降雪・積雪となった。

暖冬傾向から生育が促進され1月中旬で幼穂長3mmとなる他、不時出穂する圃場もあり、凍霜害が懸念された。

2月中旬も高温となった時期のあとに降雪・積雪となる時期があった。

<越冬後 生産者ほ場一斉調査(2/23、管内25か所)>

草丈：22.3cm(11.2～32.0cm)、茎数：769本/m²(504～1069本/m²) ※目標600本/m²

葉色：5.2(4.7～5.9)、幼穂長4mm(1～10mm)、出穂見込4/17頃(4/6頃～4/25頃)

〈裏面へ〉

生育観測圃場の経過

	越冬前	前年比	越冬後	前年比
草丈(cm)	25.9	167%	22.7	147%
茎数(本/m)	174.3	121%	252.0	138%
茎数(本/m ²)	679.8	125%	976.0	143%
葉数(葉)	5.9	103%	8.2	103%
葉色:葉色板	4.8	—	4.0	82%

4か所の平均、但し本年越冬後のみ2か所の平均

H28産麦生産者代表ほ場生育状況巡回調査(越冬中:2月23日)

地区	草丈 cm	茎数 本/m	" 本/m ²	葉色 葉色板値	幼穂長 mm	出穂 見込
一木 I	24.5	207	771	4.7	10.0	4/6頃
一木 G	25.0	195	727	4.8	8.0	4/9頃
郷	20.4	198	733	5.2	1.2	4/25頃
林中 Ko	27.0	171	523	5.0	6.3	4/12頃
林中 Ka	32.0	245	817	5.0	5.0	4/14頃
林中 M	16.6	227	757	4.8	4.0	4/16頃
山島 U	22.8	160	525	5.0	2.3	4/20頃
山島 Y	19.6	235	953	5.2	4.7	4/16頃
山島 H	21.6	173	683	4.7	3.7	4/18頃
山島 T	19.2	229	781	5.2	4.7	4/16頃
山島 N	29.5	183	624	5.0	2.7	4/20頃

地区	草丈 cm	茎数 本/m	" 本/m ²	葉色 葉色板値	幼穂長 mm	出穂 見込
旭 A	57.7	171	684	5.3	10.0	4/6頃
旭 B	24.2	232	881	5.3	3.0	4/19頃
旭 K	18.6	145	662	5.1	3.0	4/19頃
御手洗 A	24.6	185	674	5.3	2.0	4/20頃
御手洗 S	19.0	209	825	5.3	2.2	4/20頃
出城 T	21.7	235	1058	5.8	3.0	4/18頃
出城 N	11.2	190	822	5.9	1.0	4/25頃
宮保 O	25.8	185	677	5.3	5.3	4/14頃
宮保 K	17.9	151	504	5.3	4.0	4/16頃
笠間 K	21.0	216	832	5.3	3.0	4/19頃
笠間 M	25.6	255	1069	5.7	4.3	4/15頃
石川 H	19.4	206	848	5.5	4.3	4/15頃
石川 A	19.2	237	982	4.7	3.0	4/19頃
石川 D	25.1	177	760	5.0	1.3	4/25頃

3. 今後の管理

現在の生育状況は、越冬後の生育量は確保されています。

(1) 排水溝の点検

ほ場内の畦や排水溝に停滞水が見られます。排水溝を点検し、連結等の補修作業を行い、停滞水を排除して茎数を維持しましょう。

(2) 追肥の施用

① 消雪期追肥

施用時期	生育量 (茎数)	肥料名	施用量 (kg/10a)
~3月8日	600本/m ² 以下 (条間30cmで182本/m以下) (条間25cmで150本/m以下)	NK17号	12

※消雪直後に平均気温4~5℃(平年2月下旬~3月上旬)となる頃にせよします。
 ※茎数600本/m²を超え、葉色4.5~5.0(葉色板値)となっている圃場では追肥不要です。
 ※越冬後追肥の遅れや過剰は、倒伏や細麦化につながります。

②止め葉展開期追肥(粒厚及び千粒重の向上):出穂10日前頃(葉耳間長±0cm)
 《不稔による減収が懸念される圃場》

硫安10kg/10aを施用

《茎数が少なく(500本/m²以下)、葉色が薄い(葉色版値5未満)ほ場》

硫安 5kg/10aを施用

※葉色が濃く(葉色板値5以上)、生育量が多い(茎数550本/m²以上)場合は不要です。